

科学講演会

10月19日(金) 午後2時より本校体育館において、平野俊夫大阪大学総長による科学講演会を開催しました。テーマは「医学と『いのち』」で、1年生全員(在籍320名)、2年生全員(在籍320名)、保護者の聴講希望者11名が参加しました。

大阪大学医学部を中心とした研究生活の中で、「医学といのち」に関わって科学的研究を続けていくことの重要性とその成果が医療面でどういかにされているのかをわかりやすく説明いただきました。また、近視眼的な研究と成果の達成を越えて、研究に対する姿勢と情熱の継続性・重要性を説き、それが人間の生き方の指針でもあることを体験をまじえながら情熱的に説明いただきました。

第二部として席を改めて、医療系進学希望者36名と平野総長が大阪大学医学部教授瀧原圭子氏のコーディネートで今日の医学や、医療系進学のあり方、研究の進め方などについて座談会を約1時間実施しました。

アンケートの集計結果	(「強くそう思う」「思う」の合計%)
将来への進路意識は高まりましたか。	79%
最新の医学への理解が深まり興味を持ちましたか。	73%
『いきる』ことの意味を深く考えられましたか。	87%

生徒の感想より

- ・「生きる」ことの大切さを改めて感じた。平野さんからの言葉で「あきらめずに山を登りきる、人から受けた仕事でも自分がやることには責任をもって一生懸命やりきる」というのに感動した。今日からとりあえずでも、自分の全力を出してやりきると決意した。一秒でも一日でも今日死ぬと思って生きたいと思った。そして何十年後に人生を振り返って満足のいくものにしたいと思った。
- ・私は医学関係の道を目指しているので、平野総長のお話はとても興味深かったです。人間は生まれ、やがて死ぬという点においては皆同じであるが、その人生をどう生きるかは人それぞれ違うということが印象に残りました。総長はその人生の中で常に全力投球で何事にも取り組みことが大切だとおっしゃっていたので、私ももっと頑張ろうと思いました。また夢、目標をしっかりと持ち、将来のビジョンを持たなければならないと思った。
- ・私は将来博物館学芸員になりたいくて、文系に進もうと思っています。数学や化学が苦手な、理数科目に対して、後ろ向きに目をそむけて考えていました。しかし今日のお話を聞いて、今与えられているやるべきことに一生懸命取り組まなければ、将来の夢

はかなえられないと感じました。

- ・自らどんどんチャレンジしていくことで、自分を磨くことができ、目の前にある山を乗り越えていくことが大事だとわかった。何でも後回しにしてしまうのではなく、すぐにする気持ちを大切にすることが自分には大切だとわかった。「明日は死ぬ」の気持ちをもって、今日できることはしっかりやっつけていこうと思いました。
- ・自分が今ある命は代々伝えられてきたものであり、奇跡だと感じた。この尊い命を救う医療はやっぱり素晴らしいものであり、関わりたいなという気持ちが芽生えた。手術だけでなく、薬で人の命を救えるということもあるので、薬学部で人を救いたい、難病を治したいという思いが現れた。

